

# TTC活動の紹介

2023年8月

一般社団法人情報通信技術委員会  
(TTC)



# TTCとは

- **目的**：情報通信ネットワークに関連する標準を作成することにより、情報通信分野における標準化に貢献するとともに、その普及を図ること。
- **組織**：1985年設立（社団法人電信電話技術委員会）。2002年名称変更（情報通信技術委員会）。2011年一般社団法人移行。

総務省電気通信システム委員会の決定により、ITU-Tの全SG（SG3とSG9を除く）とTSAGに対して、日本からの寄書の事前審議を行い、日本の対処方針案を作成するとともに、必要に応じて日本寄書の提案を電気通信システム委員会に対して行うアップストリーム活動を付託されています。また、ITU-Tの勧告A.5、A.6※によりITU-T勧告が標準参照できる組織として認定を受けています。

※勧告A.5：他の標準化機関の標準をITU-T勧告に参照引用するための一般的手続き

勧告A.6：各国や地域標準化機関とITU-Tとの間の情報交換や協力のための手続き

- **事業内容**：情報通信ネットワークに関連する次の事業を実施。
  - ITU等に提案する国際標準案等の検討
  - ITU等の国際標準を基にした国内標準の検討・策定
  - 国際標準化動向の調査等の実施
  - 標準の普及 等

- **所在地**：東京都港区芝公園1-1-12

- **正会員** TTCの方針を決める総会、標準を制定する標準化会議の投票権を持つ。標準作成やITU-T等へのアップストリーム活動を行う専門委員会に参加することが可能。
- **準会員** 情報通信における業際分野の事業者のうち、TTCの方針、標準制定に関わる決定には関与しないものの、トライアルベースで標準案の作成やアップストリーム活動に参加できる権利を持つ。
- **協力会員** 中小企業者、大学、非営利団体等のうち、TTCの方針、標準制定に関わる決定には関与しないものの、標準案の作成やアップストリーム活動に協力できる権利を持つ。
- **賛助会員** TTCの方針の決定、標準制定および標準作成に関与しないものの、作成された標準及び調査研究結果を入手できる権利を持つ。

## ◆会員

### 【正会員 (1/2)】

アラクサラネットワークス株式会社  
 アンリツ株式会社  
 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  
 岩崎通信機株式会社  
 株式会社インターネットイニシアティブ  
 エクシオグループ株式会社  
 NECマグナスコミュニケーションズ株式会社  
 エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社  
 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社  
 エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社  
 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ  
 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所  
 株式会社NTTドコモ  
 エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社  
 エリクソン・ジャパン株式会社  
 大井電気株式会社  
 沖電気工業株式会社  
 京セラ株式会社  
 クアルコムジャパン合同会社  
 KDDI株式会社  
 株式会社国際電気通信基礎技術研究所  
 コニカミノルタ株式会社  
 株式会社サイバー創研  
 サクサ株式会社  
 JCOM株式会社  
 シャープ株式会社  
 一般社団法人情報処理学会  
 一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会

スカパーJ S A T株式会社  
 住友電気工業株式会社  
 住友電設株式会社  
 ZTEジャパン株式会社  
 ソニー株式会社  
 ソニーグループ株式会社  
 ソフトバンク株式会社  
 ダイキン工業株式会社  
 通信電線線材協会  
 一般社団法人電気通信事業者協会  
 一般財団法人電気通信端末機器審査協会  
 株式会社デンソー  
 株式会社東光高岳  
 株式会社東芝  
 トヨタ自動車株式会社  
 株式会社ナカヨ  
 西日本電信電話株式会社  
 日鉄ソリューションズ株式会社  
 一般財団法人日本ITU協会  
 日本アイ・ビー・エム株式会社  
 一般社団法人日本インダストリアルイメージング協会  
 一般社団法人日本ケーブルラボ  
 日本コムシス株式会社  
 一般財団法人日本データ通信協会  
 日本電気株式会社  
 日本電信電話株式会社  
 日本放送協会  
 日本無線株式会社

# TTCの会員一覧 (2023年8月現在)

会員数96 (内訳：正会員数74 賛助会員数12 協力会員数10)

## 【正会員 (2/2)】

ノキアソリューションズ&ネットワークス合同会社  
 パナソニック ホールディングス株式会社  
 東日本電信電話株式会社  
 株式会社日立製作所  
 華為技術日本株式会社  
 株式会社フジクラ  
 富士通株式会社  
 株式会社富士通ゼネラル  
 富士電機株式会社  
 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社  
 一般財団法人マルチメディア振興センター  
 三菱電機株式会社  
 株式会社ミライト・ワン  
 楽天コミュニケーションズ株式会社  
 楽天モバイル株式会社  
 株式会社ラック  
 リボン・コミュニケーションズ株式会社  
 一般社団法人YRP研究開発推進協会

## 【賛助会員】

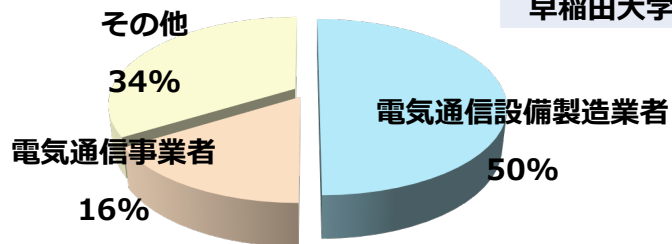
株式会社iD  
 APRESIA Systems株式会社  
 株式会社オプテージ  
 株式会社クローバー・ネットワーク・コム  
 三和電子株式会社  
 一般社団法人中部産業連盟  
 株式会社バッファロー  
 古野電気株式会社  
 ベストセレクション株式会社  
 株式会社村田製作所  
 株式会社リコー  
 株式会社レイヤーズ・コンサルティング

## 【協力会員】

株式会社アステム  
 金沢工業大学  
 慶應義塾大学  
 デロイト トーマツ サイバー合同会社  
 東京大学  
 兵庫県立大学  
 広島市立大学  
 株式会社プラスヴォイス  
 一般社団法人メディカル・イノベーション・コンソーシアム  
 早稲田大学

## <参考> 正会員分類

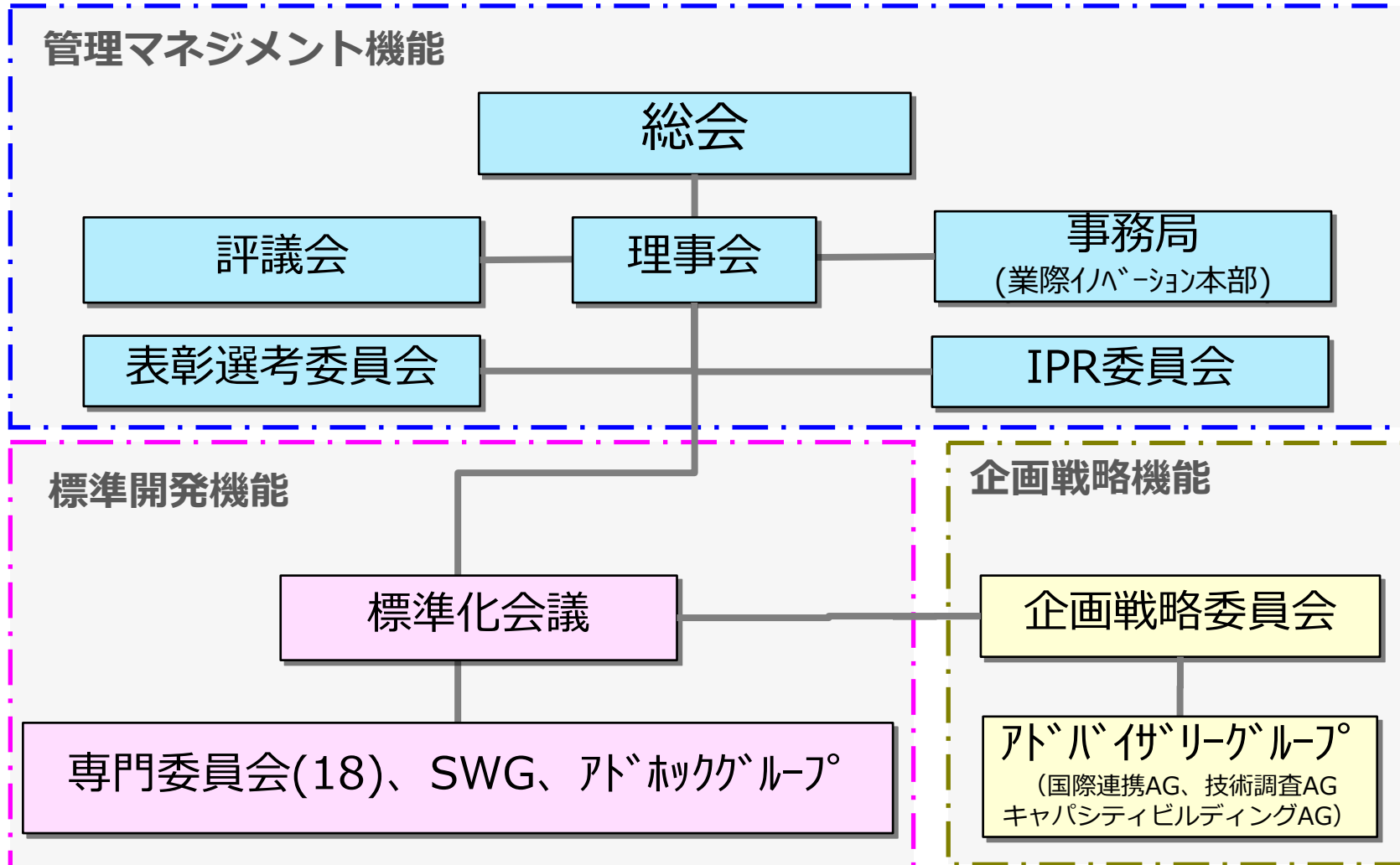
分類	正会員数
電気通信設備製造業者	37
電気通信事業者	12
その他	25
Total	74



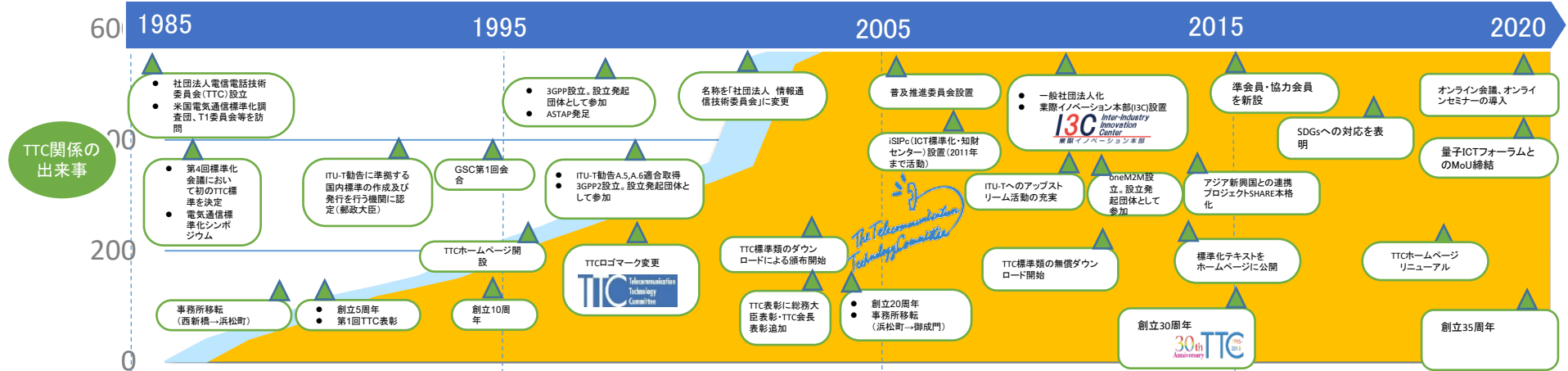
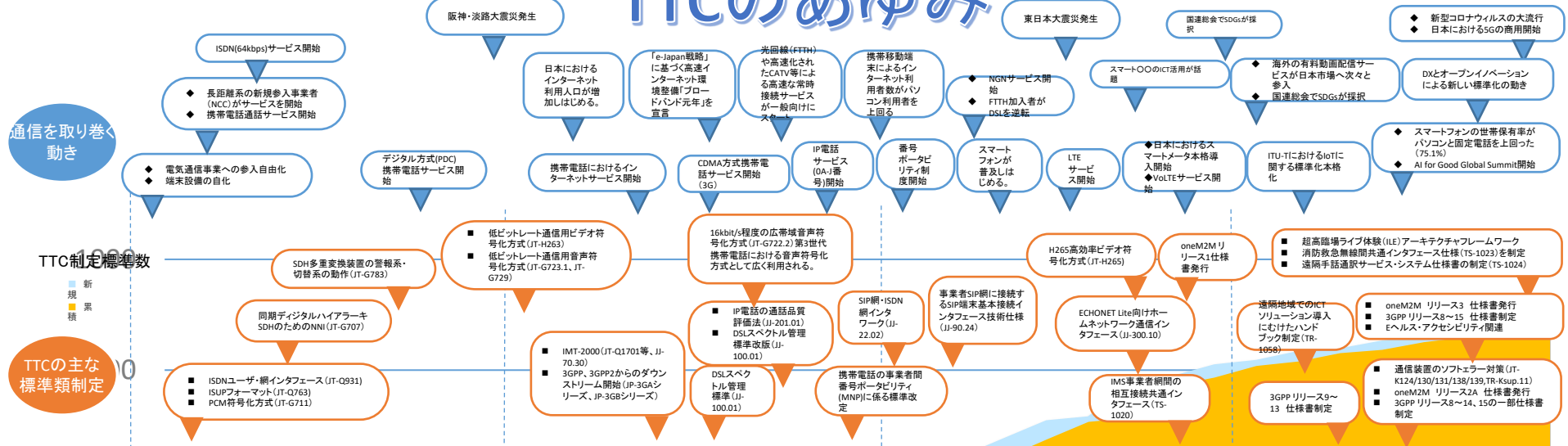
# TTC 役員（2023年8月現在）

TTC役職	氏名	役職
代表理事会長	原島 博	東京大学名誉教授
代表理事専務理事	岩田 秀行	一般社団法人情報通信技術委員会 代表理事専務理事
理事	浅井 光太郎	三菱電機株式会社 開発本部 開発業務部 技術顧問
理事	木下 真吾	日本電信電話株式会社 執行役員 研究開発マーケティング本部 研究企画部門長
理事	栗原 寛	株式会社日立製作所 デジタルシステム&サービス統括本部 経営戦略統括本部 渉外本部 部長
理事	古賀 正章	KDDI株式会社 技術統括本部 技術標準担当 シニアディレクター
理事	佐藤 隆明	株式会社NTTドコモ 常務執行役員（CTO） R&Dイノベーション本部長
理事	白江 久純	日本電気株式会社 顧問
理事	高木 康志	富士通株式会社 SVP システムプラットフォームビジネスグループ エグゼクティブディレクター
理事	前野 蔵人	沖電気工業株式会社 執行役員 技術責任者 兼 技術本部長
理事	牧園 啓市	ソフトバンク株式会社 専務執行役員 兼 CIO IT統括 兼 テクノロジーユニット統括付（プロダクト技術担当）
理事	松尾 光広	住友電気工業株式会社 情報ネットワーク研究開発センター 技師長
監事	石井 義則	一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会 常務理事
監事	山本 一晴	一般社団法人電気通信事業者協会 専務理事

# TTCの組織



# TTCのあゆみ

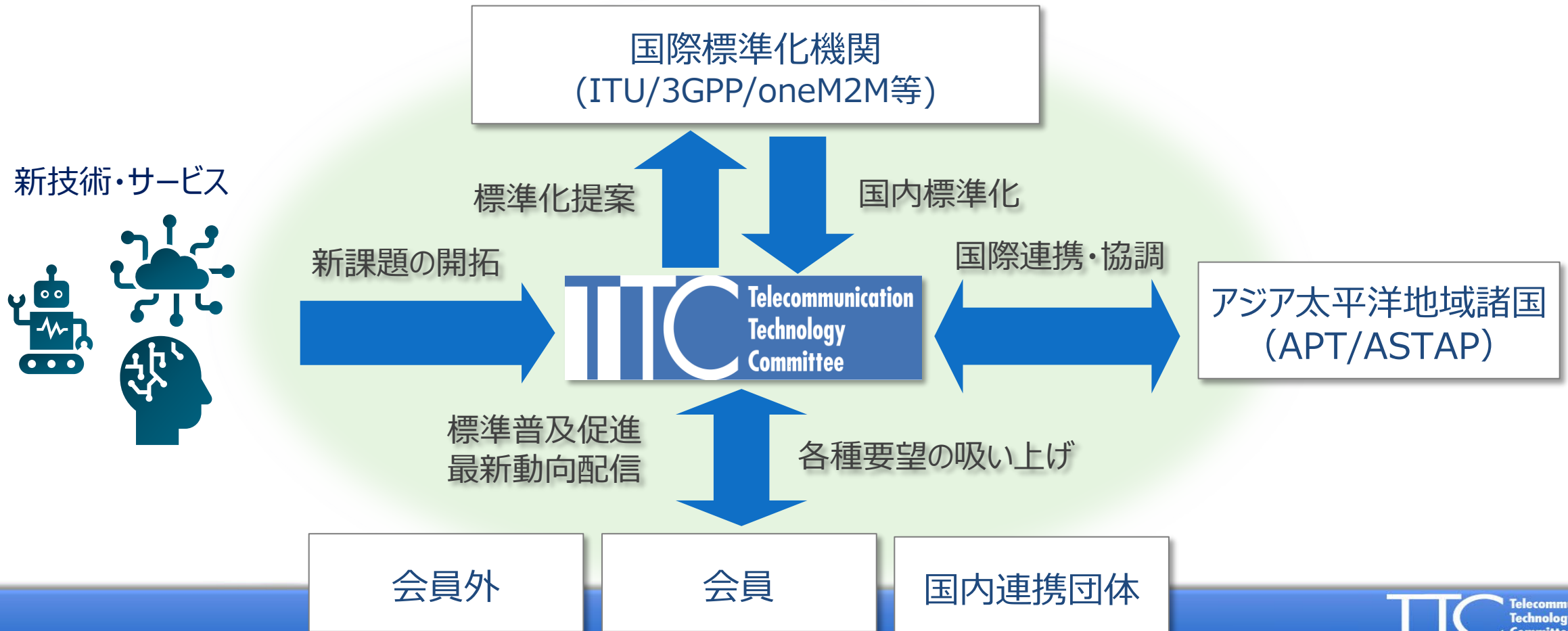


西暦	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
会長	豊田 英二										関本忠弘	荒木 浩			森下 洋一			羽鳥 光俊										原島 博										
理事長	秋山 龍					齋藤 成文					安田 靖彦			羽鳥 光俊			井上 友二																					
専務理事	飯田 徳雄										堀崎 修宏										井上友二		喜安拓		重田憲之		前田 洋一					岩田秀行						
事務局長	舟木 外美雄		神岡 篤司					光原 正					山口 睿樹		有園 徹		厚井 達夫		竹田 義行		堀崎修宏		井上友二		喜安拓		重田 憲之			金谷 学		稲田 修一		喜安 拓		田尻信行		
標準会議議長	葉原 耕平			小野 欽司		石川 宏			村上 仁己			北見 憲一			松本 潤		藤井 伸朗		松本 修一		黒川 章		野本 真一		森田 直孝		田中 俊昭		瀬村家 光		滝嶋 康弘		古川 聖					
評議会議長	渡辺 文夫										猪瀬博		葉原 耕平			辻井 重男										原島 博		相田 仁										



# TTCの役割

国際標準化への展開を踏まえ、国内外の標準化機関及び各種推進団体との連携・協調のもと、情報通信ネットワークの高度化と普及に努めている



## 1. 標準化活動の推進

- ①国内標準等の制定：標準、仕様書、技術レポート
- ②国際標準化活動への貢献：ITU-T、3GPP、oneM2M等（寄書など）
- ③標準化課題の発掘：IoT活用、ビッグデータにおけるネットワーク課題等
- ④各種調査研究：各種フォーラム活動の調査・分析等

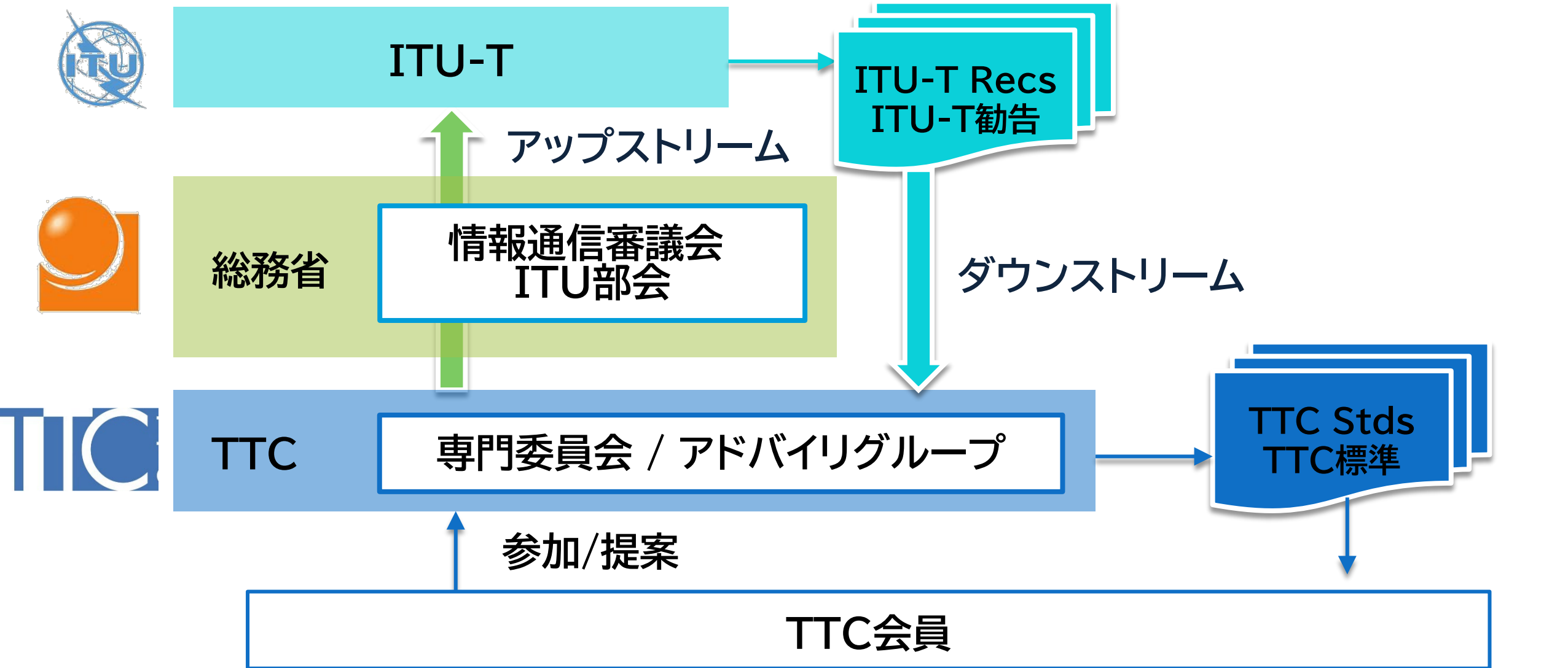
## 2. 標準化団体・推進団体との連携

- ①ITU-T等の標準開発機関（SDO）、oneM2M、3GPP等の各種フォーラム活動との連携
- ②APT/ASTAP等を活用したアジア・太平洋諸国への標準普及
- ③Beyond5G新経営戦略センター等、国内諸団体・活動との連携（産学官連携、他分野・他業界との横断的連携を含む）

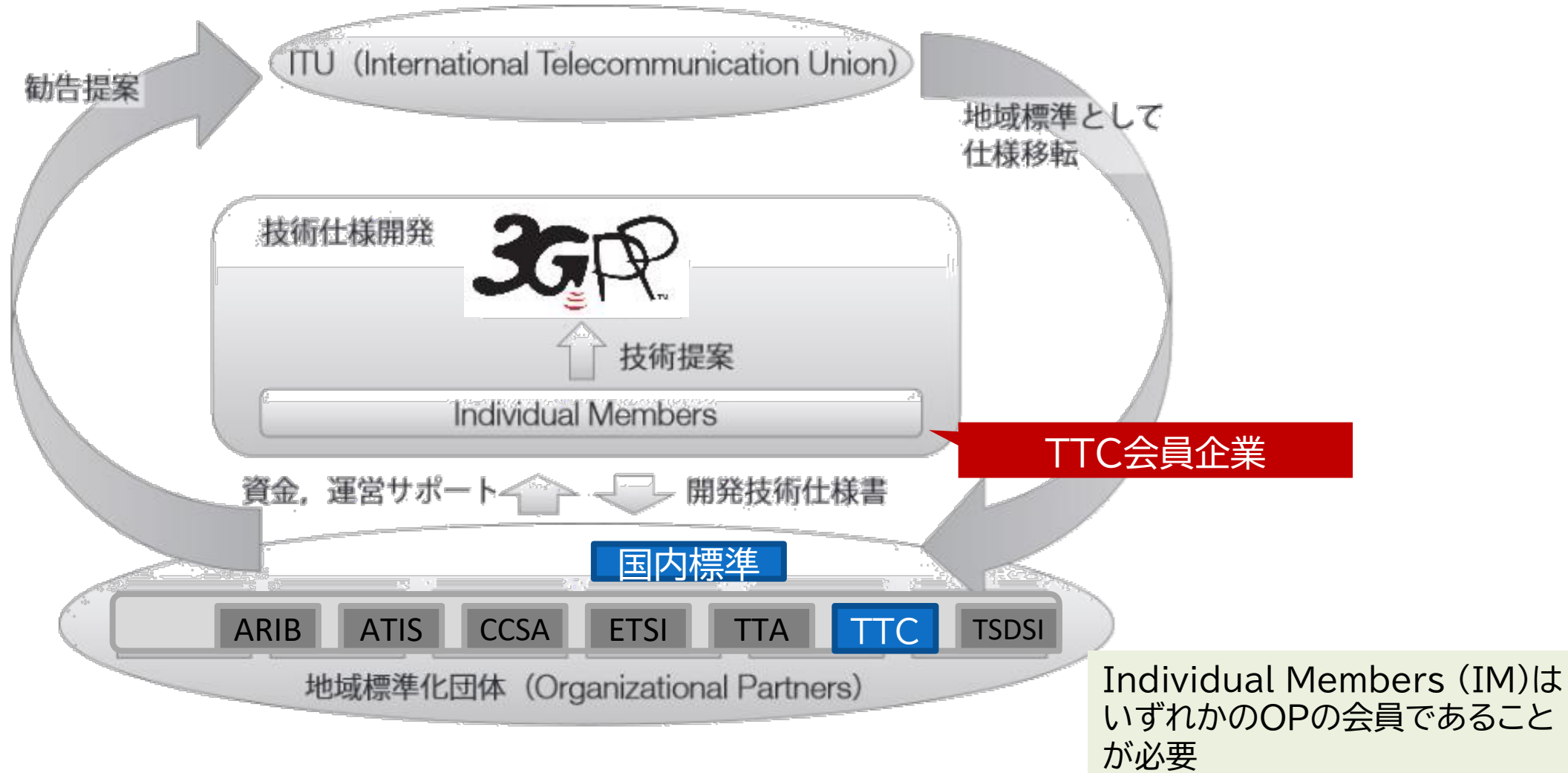
## 3. 標準の普及活動、広報活動

- ①新規テーマの取り込みやTTC活動紹介のための各種セミナー等の開催
- ②ICT業界と利活用業界の連携支援

# ITU-Tへのアップ/ダウンストリーム活動



# (参考) 3GPP関連：技術提案からITU標準への流れ



# 専門委員会 等

部門	専門委員会		主なサブワーキンググループ／アドホックグループ				
ICT活用 アプリケーション	マルチメディア応用	BSG (標準化格差解消)	e-health	アクセシビリティ	ILE	マシンビジョン	ICTと 気候変動
	コネクテッド・カー	IoT・スマートシティ					メディア符号化・ 通信SWG
プラットフォーム	AI活用	セキュリティ	消防司令 システム				
	oneM2M	企業ネットワーク					
プロトコル・NW管 理・品質	信号制御	網管理	QoS/QoE				
	番号計画						
アーキテクチャー	Network Vision	3GPP	NetSoft	FG AN対応			
	移動通信網マネジメント						
トランスポート・ アクセス・エリアNW	IoTエリアネットワーク	伝送網・電磁環境					
	アクセス網	光ファイバ伝送					

# (参考) ITU-T SGへのアップストリーム活動

As of 2023/4/3

L:リード専門委員会

X:当該SGのWP/Qを担当、または寄書提案やInputを想定している専門委員会

R:当該SGのWP/Qを担当、寄書提案やInputを現在は想定していないがTTC内検討で連携・協力する関連専門委員会

		TTC 専門委員会														TTC アドバイザリ グループ						
		トランスポート・ アクセス・エリアNW				アーキテクチャー			プロトコル・ NW管理・品質			プラットフォーム							ICT活用アプリケーション			
		伝送網・電磁環境	アクセス網	光ファイバ伝送	IoTエリアネットワーク	Network Vision	3GPP	移動通信網マネジメント	信号制御	網管理	番号計画	AI活用	oneM2M	セキュリティ	企業NW				マルチメディア応用	コネクテッド・カー	BSG	IoT・スマートシティ
ITU-T Study Groups	SG2	サービス提供の運用側面及び電気通信管理																				
	SG5(EMC)	L			R																	
	SG5(Climate Change)																	L				
	SG11						R	R	L				R	R								
	SG12					X				L					R	R						
	SG13				R	L	R	R	R				R		R							
	SG15	L	X	X	X																	
	SG16							R							L	X						
	SG17							R					L		R	R						
	SG20				R	R				R		R	R	R	R	R	R	L				
TSAG																			L			

# (参考) ITU-T FGへの対応

As of 2023/4/3

L: リード専門委員会

X: 当該SGのWP/Qを担当、または寄書提案やInputを想定している専門委員会

R: 当該SGのWP/Qを担当、寄書提案やInputを現在は想定していないがTTC内検討で連携・協力する関連専門委員会

		TTC専門委員会														TTCアドバイザーグループ																								
		トランスポート・アクセス・エリアNW				アーキテクチャー			プロトコル・NW管理・品質			プラットフォーム			ICT活用アプリケーション																									
		伝送網・電磁環境	アクセス網	光ファイバ伝送	IoTエリアネットワーク	Network Vision	3GPP	移動通信網マネジメント	信号制御	網管理	番号計画	AI活用	oneM2M	セキュリティ	企業NW	マルチメディア応用	コネクテッド・カー	BSG	IoT・スマートシティ	国際連携	技術調査	キャパシティビルディング																		
ITU-T Focus Groups	FG-TBFxG	Testbeds Federations for IMT-2020 and beyond																																						
	FG-AI4A	AI and IoT for Digital Agriculture																																						
	FG-AI4NDM	AI for Natural Disaster Management																																						
	FG-AN	Autonomous Networks																																						
	FG-AI4H	Artificial Intelligence for Health																																						
	FG-MV	Metaverse																																						

# (参考) ITU-T Focus Group

- ✓ ITU-TのFGは、産業界からの要望や、SGでカバーされていない内容への対応等を目的に、現在、6つのグループが活動している。ITU-Tメンバー以外も参加し、活動が活発化している。
- ✓ 専門委員会でのフォローが難しいFGについて、外部リソースの活用や対応体制の新設等検討し、対応していく。

#	Focus Group		活動開始	主管	日本/TTCでの対応状況	
1	FG-TBFxG	Testbeds Federations for IMT-2020 and beyond	2021-12	SG11	NICTから参加	
2	FG-AI4A	AI and IoT for Digital Agriculture	2021-10	SG20	IoT・スマートシティ専門委員会(委員長・SG20副議長)参加	
3	FG-AI4NDM	AI for Natural Disaster Management	2020-12	SG2	-	
4	FG-AN	Focus Group on Autonomous Networks	2020-12	SG13	FG-AN対応AHGで対応	
終了	-	FG-AI4AD	AI for autonomous and assisted driving	2019-10	SG16	コネクテッド・カー専門委員会内に開催状況告知・TTC事務局参加。
終了	-	FG-AI4EE	Environmental Efficiency for AI and other Emerging Technologies	2019-05	SG5	NTTから参加(SG5副議長)
	5	FG-AI4H	Artificial Intelligence for Health	2018-07	SG16	マルチメディア応用専門委員会(委員長・SG16副議長)参加。
終了	-	FG-VM	Vehicular Multimedia	2018-07	SG16	コネクテッド・カー専門委員会内に開催状況告知事務局参加。
新規	6	FG-MV	Metaverse	2022-12	TSAG	マルチメディア応用専門委員会主導でWP設置



# (参考) ITU-T JCAへの対応

As of 2023/4/3

L:リード専門委員会

X:当該SGのWP/Qを担当、または寄書提案やInputを想定している専門委員会

R:当該SGのWP/Qを担当、寄書提案やInputを現在は想定していないがTTC内検討で連携・協力する関連専門委員会

		TTC専門委員会													TTCアドバイザーグループ										
		トランスポート・アクセス・エリアNW				アーキテクチャー			プロトコル・NW管理・品質			プラットフォーム			ICT活用アプリケーション										
		伝送網・電磁環境	アクセス網	光ファイバ伝送	IoTエリアネットワーク	Network Vision	3GPP	移動通信網マネジメント	信号制御	網管理	番号計画	AI活用	oneM2M	セキュリティ	企業NW	マルチメディア応用	コネクテッド・カー	BSG	IoT・スマートシティ	国際連携	技術調査	キャパシティビルディング			
ITU-T Joint Coordination Activities	JCA-QKDN	Quantum Key Distribution Network							R																
	JCA-ML	Machine Learning										R													
	JCA-DCC	Digital COVID-19 Certificates												X		X					L				
	JCA IMT-2020	IMT-2020(SG13)				L																			
	JCA MMeS	Multimedia aspects of e-services(SG16)															L								
	JCA IoT and SC&C	Internet of Things and Smart Cities & Communities(SG20)																	L						
	JCA AHF	Accessibility and Human Factors(TSAG)															R				L				
	JCA IdM	Identity Management(SG17)													L										
	JCA COP	Child Online Protection(SG17)													L										

# TTCにおける寄書数・標準等制改定数

## TTCにおいて制定した標準類の実績（2023年3月末までの累計）

標準 923件  
 技術仕様書(TS) 17,826件  
 技術レポート(TR) 749件

### <TTC ドキュメント分類定義>

標準 (Standard) 確定した仕様として発行するもの

仕様書 (Technical Specification) 暫定的な仕様として発行するもの

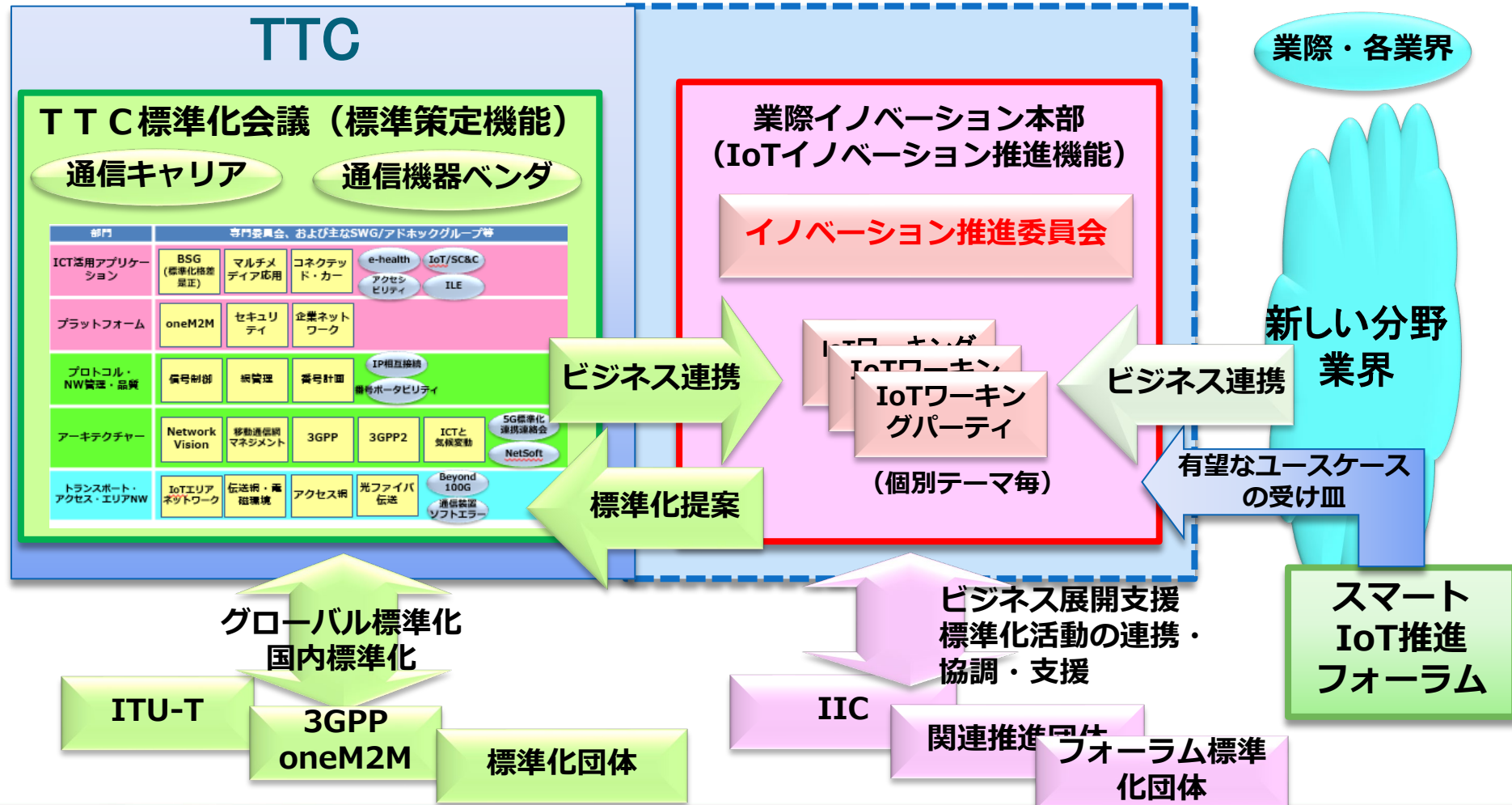
技術レポート (Technical Report) 技術参考資料として発行するもの

年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
寄書数	112	158	96	108	104
TTC標準制改定	24	14	25	16	13
仕様書制改定	1,975	560	1256	707	1,392
(内3GPP)	1,952	536	1252	704	1,389
技術レポート制改定	99	15	43	10	68
(内3GPP)	81	1	40	1	55

※TTCの標準類文書は、TTCのウェブサイトから誰でも無償でダウンロード可能。

# IoTイノベーション推進に関する活動

TTCは従来からの標準化関連の活動に加え、IoT分野のビジネス展開を推進するため、業際イノベーション本部を設置し、業界をまたがるIoTイノベーションの推進に注力



# 業際イノベーションワーキングパーティの活動

現在活動中および今年度新規設立予定のWPIは以下の通り

## 高精細映像データ医療応用研究会(継続活動中)

- ◆ 8K内視鏡などの医療用高精細画像の色彩情報に関する標準化(ITU-Tへの寄書提案)を目指している
- ◆ 一般社団法人メディカル・イノベーション・コンソーシアム、内視鏡・映像関係企業、放送関係者が参加し、議論の成果をITU-Tに提案

## BHQ(継続活動中)

- ◆ 脳の健康の維持・向上に向け、脳のMRI画像をベースに脳健康状態を表す単位として開発された BHQ(Brain Healthcare Quotient) に関する情報交換、利活用事例の調査研究、実証実験、普及展開などを実施中
- ◆ ITU-T SG16における脳情報プラットフォーム(勧告化完了)のユースケース検討などでの連携家電、食品、医療機器、日用品メーカーなどのBHQコンソーシアム会員企業が参加

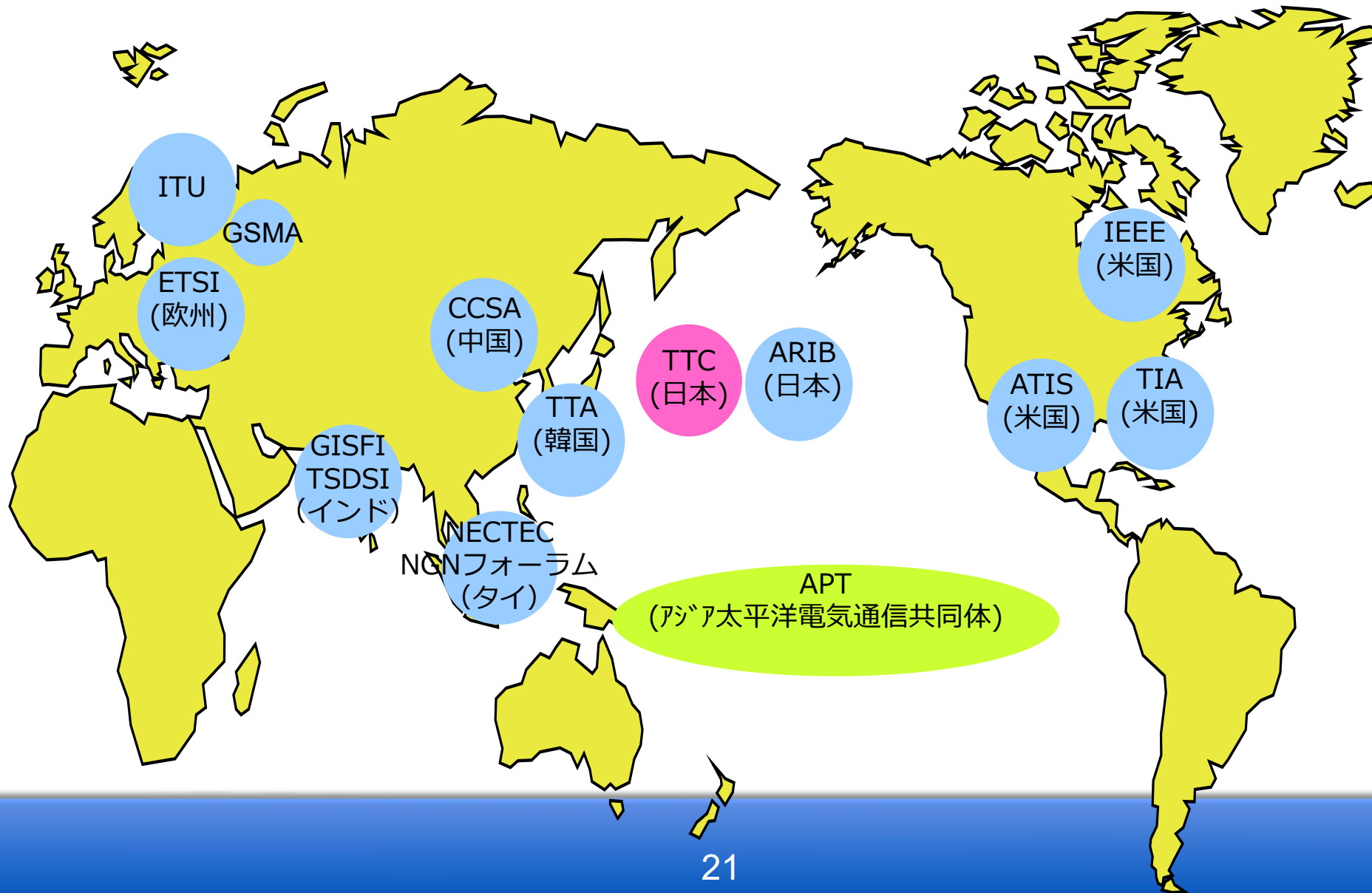
## メタバース標準化推進連絡会(2023年2月新規設立)

- ◆ メタバースに関する議論、情報共有の場として設立。
- ◆ 様々な標準化団体の情報が集まり情報の共有を行う場を作り、ITU-T FG-metaverse等 の会議の情報の共有や日本からの提案の事前検討を行い、今後のメタバースの標準化・普及を推進

## 健康・医療IoT(2023年2月新規設立)

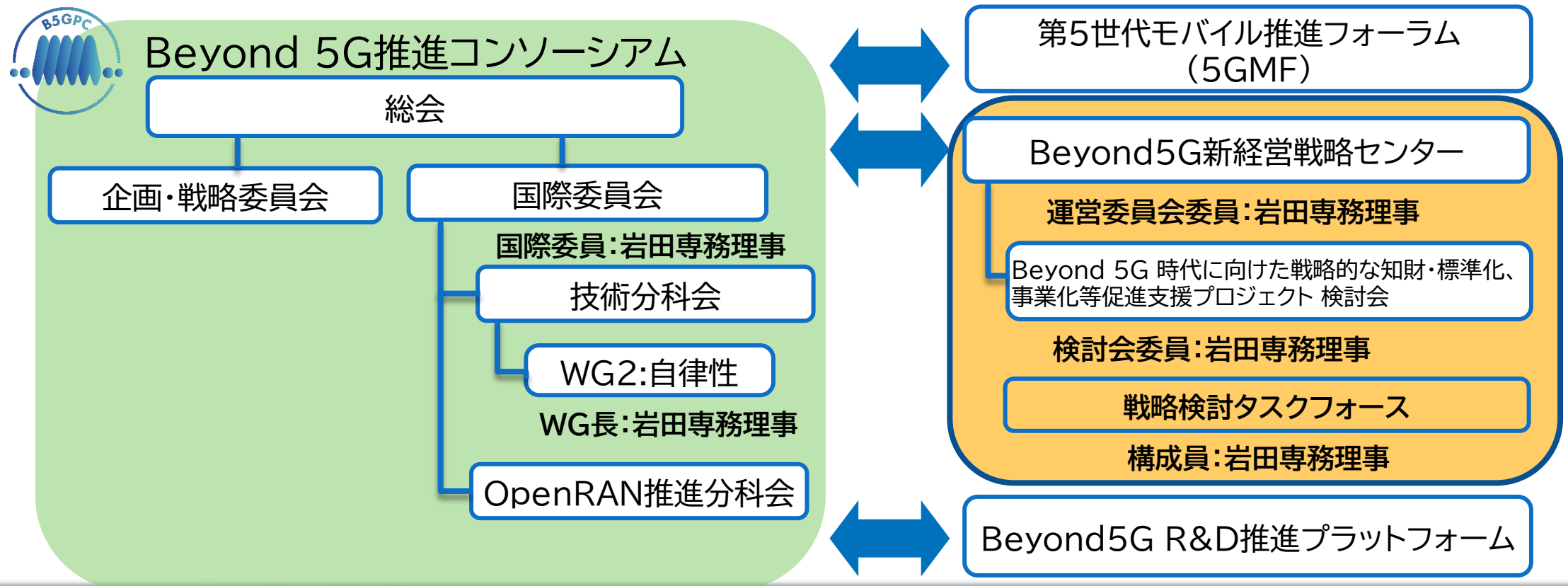
- ◆ ヘルスケアに関する議論の場として設立。
- ◆ ECHONETとContinua Health Guidelineなどの相互運用性の要求条件および実装等に関する情報交換、調査研究

# 協力・連携関係にある世界の標準化機関



# Beyond5G推進コンソーシアム/Beyond5G新経営戦略センター

- TTCはBeyond5G推進コンソーシアム、Beyond5G新経営戦略センターの活動に参画し、Beyond5G実現に向けた提言等を実施。



# Autonomous Networks(自律ネットワーク)



ITU-T

- Network architecture (SG13)
- Focus Group on Autonomous Networks



TTC

- Network Vision 専門委員会
- AI活用 専門委員会
- FG AN 対応アドホックグループ



Beyond5Gコンソーシアム

国際委員会

WG : 自律性

# 情報規格調査会(ISO/IEC JTC1)との連携

## 情報規格調査会

JTC 1/WG 11 小委員会  
スマートシティズ

JTC 1/WG 14 小委員会  
量子コンピューティング

SC 25/WG 1 小委員会  
ホームエレクトロニクスシステム

SC 29 専門委員会  
音声,画像,マルチメディア,ハイパーメディア情報符号化

SC 41 専門委員会  
インターネット・オブ・シングスおよびデジタルツイン

SC 27 専門委員会  
情報セキュリティ,サイバーセキュリティ及びプライバシー保護

SC 42 専門委員会  
人工知能

## 情報通信技術委員会

IoTスマートシティ専門委員会  
oneM2M専門委員会

Network Vision専門委員会  
セキュリティ専門委員会

IoTエリアネットワーク専門委員会

マルチメディア応用専門委員会

IoTスマートシティ専門委員会  
マルチメディア応用専門委員会

セキュリティ専門委員会

AI活用専門委員会  
Network Vision専門委員会  
コネクテッドカー専門委員会



# JIIAとの連携



ITU-T SG16: Multimedia

Q5/16 : Artificial intelligence-enabled multimedia applications  
Q21/16 : Multimedia framework, applications and service

JIIA

国際規格推進委員会

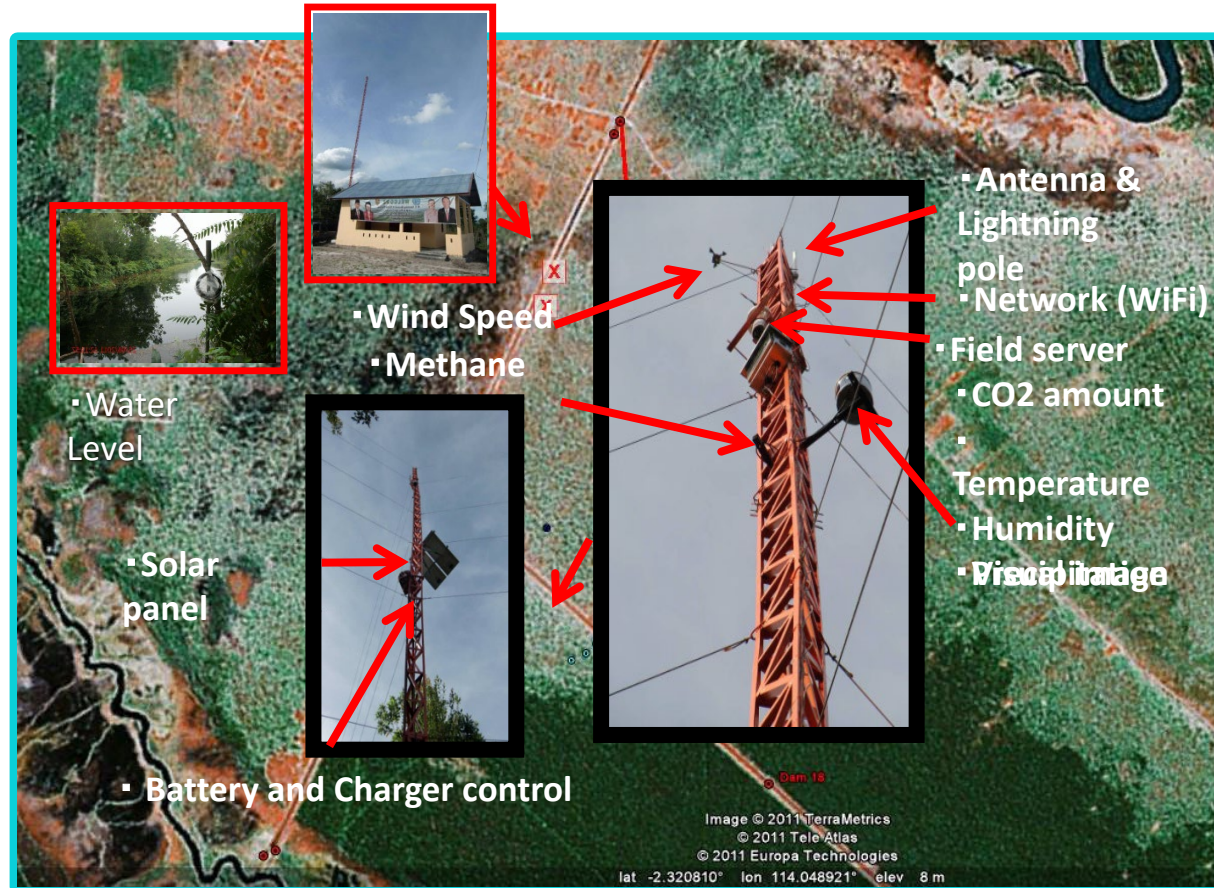


TTC

マルチメディア応用専門委員会  
/マシンビジョンSW



# APTパイロットプロジェクトによる社会課題解決



インドネシア 中部カリマンタン パランカラヤ (2011ー)

# TTC標準の普及活動、広報活動

TTCの活動を次の媒体で紹介。

- TTCホームページ (<https://www.ttc.or.jp/>)  
※標準化のホットな話題は「イワタブログ」、標準化の“いろは”については「標準化教育ページ」
- TTCLレポート（年4回会員向けに発行）
- セミナー（年20～30回、国内外で活躍中の方々を講師に迎え開催）



機関誌『TTCLレポート』



TTC岩田秀行専務理事がホットな話題を  
さめないうちにお届けする情報発信ブログ

「標準化」ってなに？

標準化教育ページ

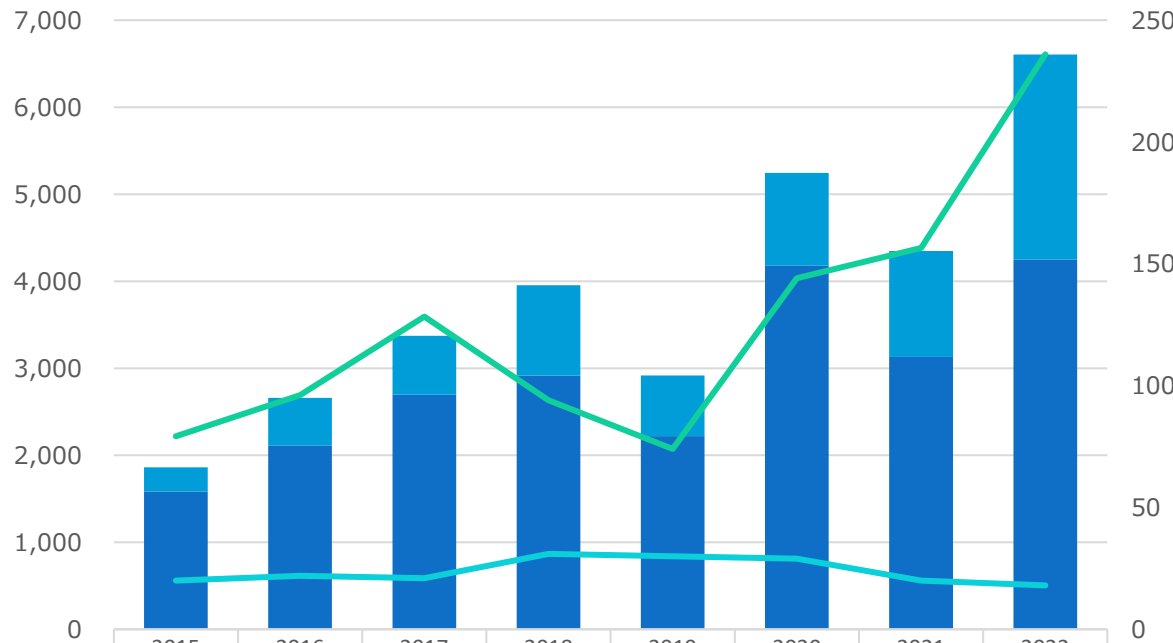
ICTの標準化に関していろいろ知りたい方へ、  
標準化教育テキスト、標準化に関するコラム、  
映像コンテンツを紹介



TTCホームページ

# TTCセミナー実施状況

- 2022年度は18回のセミナーを開催。
- 最も参加人数の多いセミナーで772名が参加。昨年度の544名を大きく更新。総参加者数、セミナー1回あたりの参加人数ともに増加し、過去最多。



2022年度参加者人数ランキングベスト3セミナー

	セミナー	参加者数
1	TTC・IOWN Global Forum共催オンラインセミナー 「グローバルパートナーと紡ぐIOWNの今」(2022/6/10)	772名
2	NICT(量子セキュリティ拠点)・TTC・量子ICTフォーラム共催 量子セキュリティ合同シンポジウム 2022「量子が拓く未来の産業」 (2022/10/25)	594名
3	IPJSJ・TTC共催オンラインセミナー 「脳情報・BMIと将来のマシンインタフェース」(2023/1/18)	591名

# デジュール及びフォーラム標準に関する標準化活動の強化に資する調査等

- 総務省通信規格課からの請負（2017年度～）
- 2021年度においては、以下の内容で実施。
  - ① **ITU-T、APT関連会合における標準化活動等の調査**（TSAG, WTSAなど）
    - 標準化教育テキスト更新、標準化初心者向けセミナー（2月、写真右上）実施
  - ② **①以外のデジュール／フォーラム標準化機関・団体の標準化動向調査**
    - 活動状況調査（IEEE-SA, IETF, FIDO, OpenID, Sovrin, W3C）
    - 詳細調査（公募して選定した調査者（8者）が標準化会合に参加し重点テーマを調査）  
IETF, ITU-T SG16, 3GPP, IEEE802、T M F o r u m等  
日本のプレゼンス向上、若手人材育成にも貢献。
  - ③ **国際標準化活動の強化に係る啓発・支援**
    - 業際ワーキングパーティの活動を支援  
詳細調査結果に関する一般向けセミナー開催（1月及び3月。写真右中・右下）
- 2023年度もTTCが同様の内容にて実施中。



# 情報通信技術賞

- TTCの目的「情報通信ネットワークに係る標準を作成することにより、情報通信分野における標準化に貢献するとともに、その普及を図ること」に沿う事業の遂行に多大な貢献をした者を表彰するもの（年度ごと）。
- 総務大臣表彰（概ね1～2名）、TTC会長表彰（概ね4～6名）
- 選考方法：TTCの表彰選考委員会（委員長：村井純慶応義塾大学教授）が選考し、理事会を経て理事長が決定。さらに、総務大臣表彰については、総務大臣が承認する。
- 表彰式は毎年6月に開催。2023年度の表彰式は、田原 康生 総務省国際戦略局長を主賓に招き開催（6月19日、於ホテル雅叙園東京）

